

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	特別活動の指導法 (小学校)		
担当者(Instructors)	山田 真紀	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)			
<p>学習指導要領や教育課程における特別活動の位置づけと目標、各教科との関連について理解したうえで、学級活動、ホームルーム活動、児童会・生徒会活動、クラブ活動、学校行事の特質を知る。そして、特別活動における集団活動の意義について、話し合いや合意形成、リーダーシップなどの観点から実際に捉えるとともに、特別活動のあり方や評価について考察する。また特別活動と家庭、地域住民、関係諸機関との連携のあり方についても検討する。将来教壇に立ったときに効果的な実践ができるように、受講生を一班6名程度のグループに分けて、主にグループワークを用いてアクティブラーニング法による授業を進める。</p>			

■ 授業形態・授業の方法 (Class form)	
授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	主に講義形式で行うが、グループワークやディスカッションも取り入れていく。

■ 各回のテーマとその内容 (Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	特別活動の位置づけと目標	この授業の15回分の流れ、この授業に参加するうえでの心構えやルールについて説明する。小学校学習指導要領における「特別活動」の項を参照し、カリキュラムにおける特別活動の位置づけと目標について解説する。	□
第2回	班分けと集団活動における意義と課題	グループワークをする際の班を作る。グループメンバーの相互理解が深まるような自己紹介的活動を行う。集団づくりが特別活動の基本となることを体験的に学ぶ。	□
第3回	学級活動①モデル活動「廃棄物ゲーム」	学級活動として行うにふさわしい「廃棄物ゲーム」を体験し、その意味と課題について分析する。学級活動において「話し合い活動」が基盤となることを体験的に理解する。	□
第4回	学級活動②モデル活動「私の自慢」	学級活動として行うにふさわしい「私の自慢」を体験し、その意味と課題について分析する。学級活動の重要な機能のひとつとして、児童の相互理解があることを体験的に理解する。	□
第5回	学級活動③話し合い活動の進め方・「学級会」の実践	「学級会」の型を知るために、東京都八王子市立式分小学校の実践を紹介する(ビデオ視聴)とともに学級活動として「話し合い活動」を進めるための要点を理解する。	□
第6回	児童会活動の進め方・児童会の意義と課題	学級の組織や委員会活動と有機的な連携をもつ児童会活動の在り方について解説する。	□
第7回	学習指導要領「特別活動」の検討	特別活動の学習指導要領を読み、内容への理解を深める。教員採用試験(筆記)に関する情報提供もする。	□
第8回	学習指導要領解説(特別活動編)の検討	学習指導要領解説「特別活動編」を輪読し、その内容への理解を深める。教員採用試験(面接・論述)に関する情報提供もする。	□
第9回	世界の特別活動・日本の特別活動	世界の特別活動の実態についての論文を読み、日本の特別活動の特質について知る。	□
第10回	学校行事①遠足の企画書作成	カリキュラムマネジメントの重要性と特別活動の企画運営の関連について体験的に理解するために、遠足の企画書を作成する。遠足の場は「トヨタ産業技術記念館」と「ノリタケの森」である。	□
第11回	学校行事②遠足の企画書発表	各自で作成した企画書を読み合わせ、児童にとって学びが多く、楽しく、有意義な1日のコーディネートの方法について学ぶ。	□
第12回	学校行事③学外活動における留意点と課題	「遠足・集団宿泊的行事」の効果的な実施方法について文献を読む。	□
第13回	特別活動に関する実践研究の検討①ー児童の成長発達に合わせた特別活動の在り方、特に、「係活動」「たてわり活動」の指導方法と、その意味・機能について理解する。	児童の成長発達に合わせた特別活動の在り方、特に、「係活動」「たてわり活動」の指導方法と、その意味・機能について理解する。	□

第14回	特別活動に関する実践研究の検討②－指導法の課題－	特別活動の理想的な形のイメージを形成するために、東京都八王子市立式分方小学校の実践を紹介する（ビデオ視聴）。これを題材として議論することで、望ましい指導法の在り方について理解する。	<input type="checkbox"/>
第15回	特別活動とチーム学校	特別活動は学校を規模とする活動であることが多く、教職員の協働が不可欠である。学校規模の活動を実現させるための役割分担や年間指導計画の在り方について学ぶ。	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前（2時間）：事前作業を指示する場合がありますので、作業を終えてから授業に参加すること。企画書作成においては、学習指導要領を熟読するとともに、指定した施設の下調べをしておくこと。事後（2時間）：「学習指導要領解説 特別活動編」を手に取り、授業で扱った部分について復習すること。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

提出されたレポートは、添削・採点の上で返却する。課題レポートは、まとめて翌週フィードバックし、全体で共有する機会を持つ。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	小学校教諭として特別活動を実践するうえで必須の知識と基礎的・実践的な技能を身につけることができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019子ども発達DP2	学校や学級の経営における多様な問題や課題に正面から向き合うことのできる力強い思考力・判断力を持ち、豊かな表現力を習得できる。
主体性	◇ 2019子ども発達DP3	チーム学校の一員として、学校の諸活動に対し、主体的共同的に携わることのできる幅広い人間力を体得することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
		0%	50%	50%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

毎回の課題小レポート（20%）、遠足の企画書（30%）

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	「小学校学習指導要領 特別活動」（平成29年3月告示 文部科学省）	
2	「小学校学習指導要領解説 特別活動編」文部科学省 東洋館出版社	
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	文参考書はそのつど紹介し、参考資料は必要に応じて随時配布する。	
2		
3		
4		
5		